

各 位

会 社 名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード: 4388 東証マザーズ)
問合せ先	執行役員経理グループ統括 前田 忠臣 (TEL. 03-6801-8402)

2022年3月期 通期業績予想および配当予想の修正（減配）に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想および1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）業績予想

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,000	百万円 320	百万円 290	百万円 210	円 銭 41.76
今回修正予想（B）	722	80	75	56	11.09
増 減 額（B - A）	△278	△240	△215	△154	
増 減 率（％）	△27.8	△75.0	△74.1	△73.3	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	887	288	288	215	42.79

（2）修正の理由

2021年10月29日付「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」における、「業績予想などの将来予測情報に関する説明」として以下を公表しております。

「コンシューマー向け製品については、「A. I. VOICE™」関連の複数の新規タイトルの発売を下期に控えており、通期業績予想に近い数値になると予想しております。

法人向けサービスについては、下期も堅調に推移するものと想定しており、通期業績予想に近い数値になると予想しております。

法人向け製品については、「AITalk®声の職人®」、「AITalk®声プラス®」の販売が堅調に推移しており、下期においても販売拡大を見込んでおります。また、防災関連については下期偏重となると予想しております。一方で、受託案件については期初の見通しを下回って推移しており、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。」

コンシューマー向け製品及び法人向けサービスについては、状況に変更はありませんが、法人向け製品につき、以下の通り、将来予測を修正することといたしました。

- ① 「AITalk®声の職人®」、「AITalk®声プラス®」については、10月以降、下期の販売拡大に向けて活動を続けておりますが、11月末時点の推移をもとに将来予測を修正することといたしました。
- ② 防災関連については、過去の実績より、下期（特に第4四半期）偏重になるものと見込んでおりましたが、「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、案件が前期、前々期に集中し、当期はその反動で、第4四半期においても、多くの案件が見込めないと判断し、将来予測を修正することといたしました。
- ③ 受託案件については、過去実績より、第3四半期に案件が確定し、第4四半期に納品が集中する傾向にありますが、当期は、大型案件が終了し、現時点で、第4四半期の納品案件がほぼ確定したことから、受託案件の将来予測を修正することといたしました。

以上より、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、前回発表予想を下回る見通しとなりましたため、2021年5月13日に公表いたしました通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 2022年3月期 期末配当予想の修正

（1）修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年5月13日発表)		8.50円	8.50円
今 回 修 正 予 想		2.00円	2.00円
当 期 実 績	0.00円		
前 期 実 績 (2021年3月期)	0.00円	8.50円	8.50円

（2）修正の理由

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を行うことであり、安定した配当の実施に努めてまいりました。

しかしながら、2022年3月期（第19期）の剰余金の配当予想につきましては、今回の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、直近の期末配当予想から6円50銭減配の1株に当たり2円00銭とすることを予定しております。

（注）上記の期末配当予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上